

かしわ



幼稚部 秋の遠足

教諭 最上 裕美

9月26日(火)秋晴れの中、久里浜花の国への遠足でした。集合場所の京急久里浜駅に、お母さんと手をつないだRちゃんは、ぴよんぴよんとはずんでやっ

て来ました。今回も隊長はRちゃんです。「1、2、3、4。4人です！」人数確認をして元気に出発しました。

商店街で「洋服屋さんだね」「魚屋さんだね」「八百屋さんだね」とお店を見ながら歩きました。洋服屋さんの看板犬、おとめちゃんに、「お手伝い がんばってね」と声をかけました。

信号待ちで足元の点字ブロックに「これは何?」と。

「目の見えない人が足で触って、危ないかどうかを確認するんだよ」と伝えると、Rちゃんは自分の足で踏んで試していました。

花の国では、蝶たちが花の蜜を吸っているところを間近で見ることができました。「すーでちゅうちゅう吸っているね」とおもしろそうに見ていました。

ゴジラのいる冒険ランドで大いに遊び、お母さんが作ってくれたお弁当をパクパク食べ、ワラートレインでゲートまで行って降りました。



駅までの帰り道、「もう歩けない」と言うお母さんを励まし、商店街で「パンが欲しいな」「ラーメンが食べたいな」という先生に「遠足だからダメだよ」と考えて言えました。この日の感想は「すべり台が楽しかったです」とのことでした。

No. 16 平成29年10月23日 函館トピアス修道院

たくさん歩きましたが、最後まで頼もしい隊長の姿を見せてくれたRちゃんに大きな成長を感じました。

次の校外学習が楽しみです。

小学部 秋の遠足

教諭 小澤 菜摘

9月29日(金)に、小学部は新江ノ島水族館へ行きました。前日まで天気は不安定で心配でしたが、事前学習の時に小学部全員で、「遠足の日には晴れますように!」とお願いをしました。その甲斐があり、遠足当日は気持ちがいいほどの晴天で水族館へ行くことができました。

江ノ島駅からは班で行動をしました。駅から水族館までは30分弱かかります。大人でも疲れてしまうくらい長い道のりでしたが、普段「疲れたー」や「休憩したい」と言う子どもたちも、リーダーの話をしっかり聞き、一生懸命歩いて行くことができました。また、リーダーや先輩が後輩を励ましながらかく様子も見ることができました。

事前学習の時、自分が見てみたいと思う魚を各班で協力しながら図鑑で調べました。自分たちが見たい魚の名前をしおりに書き込み、水族館にいるかどうかを見学しながら探します。どの班の子どもも、見たことのない魚や、幻想的なクワガなどに魅了され、水槽に釘



付けでした。

ゆゆ・アキショーでは、会場のお客さんが一体となり、音楽に合わせてゆゆたちに手でサインを送るという場面がありました。そのサインに合わせて、ゆゆたちが、

「ピン」と鳴きながら顔を振ります。その愛らしい姿を見て、みんなとてもいい笑顔でサインを出していました。ショーの最後に、ドルフィントレーナーの方が、わたしたちの方を見て、「ありがとう」と手話でしてくれました。わたしはとても感動して子どもたちに、「見た？嬉しいね」と聞きましたが、見ていた子どもたちは少なく寂しく思いましたが、水族館の方の優しさを感じることができて嬉しかったです。

水族館の中で思いっきり楽しんだ後の電車はとても辛かったと思います。しかし、みんなわがままや文句を言わずにそれぞれの解散場所まで行くことができました。子どもたちにとって貴重な経験になったと思います。

中学部 校外学習

教諭 白取 稔

中学部では、来年の修学旅行に向けての取り組みとして、9月20日（水）に鎌倉に行ってきました。鎌倉を中2は昨年に引き続いて、中1は小学部の遠足で一度経験しています。鎌倉のことを良く知っている、鎌倉に住んでおられる元中学校の先生が案内してくださいました。

昨年度のテーマは「鎌倉の海」でしたが、今回は「頼朝の信仰」でした。「いざ鎌倉」の掛け声で、武家政権をつくった頼朝が信じていたものを見つけに鎌倉駅を出発しました。訪ねる場所が11か所あって、場所ごとに考えてきてくれた質問に答えながら歩きました。

佐助稲荷の階段、銭洗弁財天への急な坂道、化粧坂の険しい下り坂を歩きました。これは、きっと、これまで子どもたちは経験したことがなかったことかも知れませんが、弱音を一言も吐かずに良く歩きました。

11か所の見学地のなかで、子どもたちにはどこが印象に残ったかな。私は



初めて訪れた覚園寺がとても印象に残りました。

楽しみの昼食ですが、これまでの遠足はお弁当でしたが、今回は例アンのお店で、いくつかあるメニューから自分で考えて選びました。子どもたちにとって、これも貴重な経験になったと思います。来年の修学旅行に向けて良い取り組みになりました。

高等部 修学旅行

総括教諭 渡邊 豊

高等部3年生は、9月19日（火）から21日（木）まで、二泊三日で北海道へ修学旅行に行ってきました。前日までは台風18号が猛威を振るい、天候が心配されましたが、おかげ様で出発日は台風一過の晴天でした。1日目は、函館牛乳〜トピオス修道院〜石川啄木・土方歳三浪漫館〜函館朝市〜立待岬〜五稜郭公園・五稜郭タワーとタクシーで回りました。中でも、生徒は幕末の志士、土方歳三に心を惹かれたらしく、とても熱心に資料を見ていました。

2日目の札幌は生憎の小雨模様でしたが、安倍総理も舌鼓を打ったというラーメン屋でお腹を満たし、テレビ塔〜時計台〜大通公園〜北海道庁旧本庁舎（通称：赤れんが庁舎）と、徒歩で回りました。異国情緒の香り漂う函館の街と比べ、札幌は都会的で駅前の地下歩行空間も整備されており、生徒も大変に驚いていました。

3日目は小樽に移動し、硝子彫刻の体験学習をしました。自分で選んだデザインを図柄に、サドブラストでとても綺麗なコップを製作しました。その後、雄大な小樽運河をのんびりと散策し、新千歳空港から帰途につきました。



この旅行で北海道の大自然を満喫し、現地の人々と触れ合い、生徒も成長したように思います。沢山の思い出と共に、この3日間で収集した各見学地の記念スタンプで、生徒の葉は一杯になりました。